

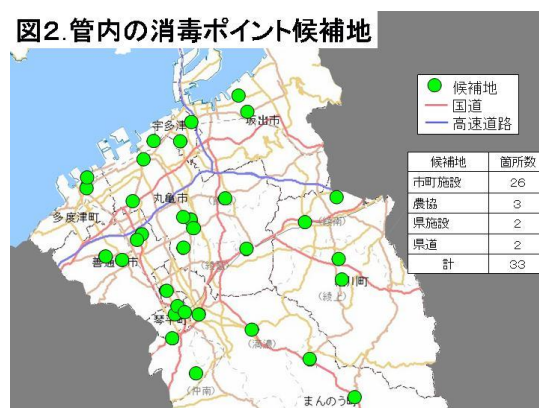
迅速な消毒ポイント設置に向けた危機管理体制強化の取組み

西部家畜保健衛生所 三好里美

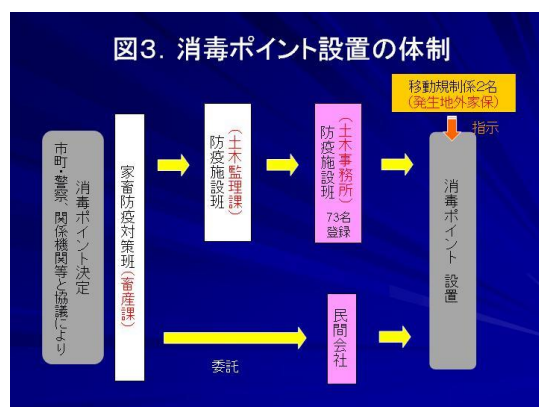
1 はじめに

口蹄疫や鳥インフルエンザが発生した場合に備えて、万全な危機管理体制の構築が求められている。そのために、本県では、全農場で事前調査を終了し、農場ごとの防疫計画書を作成して、万が一の発生に備えている（表1）。

また、消毒ポイント設置準備としては、図2のとおり候補地を選定している。管内は、道路脇スペースがあまり無いため、市町の公共施設の駐車場を中心に33カ所を候補地としているが（図2）、まだまだ不足する地域があるうえ、管理者との事前調整や詳細な現地調査ができていない状況であった。



また、本県における消毒ポイント設置の体制は、市町・警察、関係機関等との協議により、消毒ポイント決定後、家畜防疫対策班である畜産課が、防疫施設班の土木監理課から、各土木事務所へ指示し、動員登録者が各ポイントを設置することになっている（図3）。また、一部、民間にも委託する（図3）。複数の消毒ポイントを迅速に設置するためには、これらの設置者と情報を共有しておくことが重要である。



また、必要機材等の調達については、図4のとおり、市町が、所有しているテントや動噴を搬入、畜産課がレンタルの手配、発生農場を管轄する現地家保の資材調整係が備蓄資材の搬入とその他、不足資材を購入することになっており、必要資材を迅速に調達するには、事前に各ポイントの必要資材を把握するとともに、調達分担を明確にしておくこと、またできる限り備蓄しておくことが重要である。

そこで、迅速な消毒ポイント設置に向けて表1について取り組んだ。

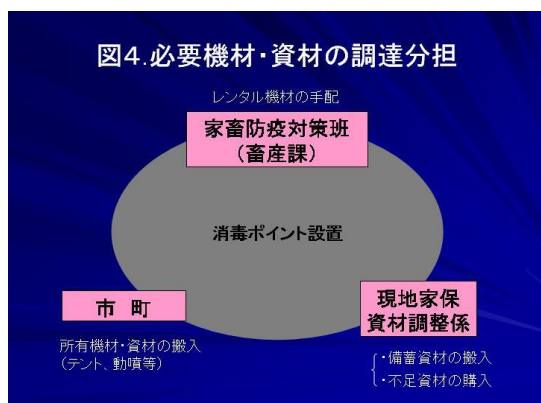


表1. 迅速な消毒ポイント設置に向けた取組み

- 管理者との事前調整と現地調査
⇒ 候補地の見直し
- 新たな候補地の選定
- 候補地の現地調査結果のデータベース化
- 設置方法のマニュアル化
- 出前演習の実施(防疫施設班 土木事務所)
- 候補地毎の必要機材・資材の把握や備蓄

2. 管理者との事前調整と現地調査

全ての消毒ポイント候補地の管理者と事前調整及び現地調査を表2のとおり行った。まずは、管理者に、設置の目的を十分説明し、連絡体制、作業内容、設置期間などについて説明した。施設利用の了承が得られたら、続いて、管理者立会のもと、消毒場所の検討を行った。大型車両の誘導に無理がなく、通常業務に比較的支障がない、周辺環境などを配慮して検討した。

続いて、大型車両でも無理のない誘導ルートを確認した。さらに、幹線道路から消毒ポイントまで、看板を設置する場所を検討した。

さらに、水道、電源コンセント、照明等の施設の設備状況を確認した。特に水道に関しては、蛇口の形状も確認し、写真を撮影した。




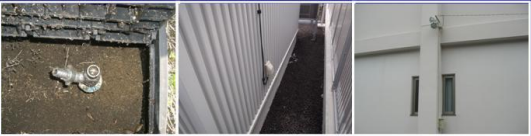
また、施設で所有している機材・資材を確認した。


3. 候補地の見直し

現地調査の結果、スペース不足や周辺環境などを理由に、12カ所を候補地から削除した(図5)。

また、不足している地区やさらに畜産関係者から利用頻度の高い道路の聞き取り結果などをもとに、さらなる候補地を探し、新たに農協等の公共的な施設25箇所の管理者に協力を要請した(図5)。

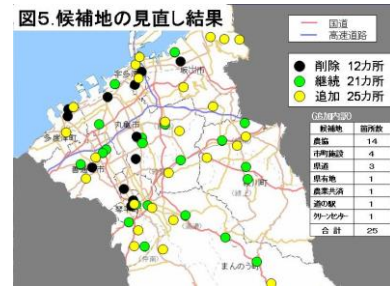
表2. 管理者との事前調整及び現地調査

- ① 管理者への説明
 - 設置の目的
 - 連絡体制
 - 作業内容や設置期間
- ② 消毒場所の検討
 - 大型車両の誘導に無理がない
 - 通常業務に比較的支障がない
 - 周辺環境に配慮
- ③ 車両誘導ルートの確認
 
- ④ 看板設置場所の検討
 
- ⑤ 施設設備の確認
 

水道 電源コンセント 照明
- ⑥ 機材・資材の確認
 

4. 高速道路インターチェンジにおける消毒ポイント設置

管内には、インターチェンジが4か所あり（図6）、それぞれのインターチェンジを管理する西日本高速道路株式会社（NEXCO 西日本）及び本州四国連絡高速道路株式会社（JB 本四高速）へ説明に行き、万が一の場合の協力を要請したうえ、消毒場所を確認した（図7）。4か所のうち2か所は、IC内に消毒スペースがないので、近くの一般道における消毒ポイントを利用するよう周知する必要があると考えられた。



5. データベース化

現地調査による各ポイントの情報をデータベース化した。記載項目は表3のとおりである。また、別シートでは、ポイント番号を入力すると、その場所の情報が表4のとおり表示できる。また、必要資材については、数量、調達者も記載している。

表3.消毒ポイント情報のデータベース化

【記載項目】

- 住所と位置データ
- 接する道路
- 第一連絡先
- 土地の所有者
- 施設設備(水道、電源コンセント、トイレ、照明)
- 必要機材・資材(44種類)
- 備考 注意事項など

表4.消毒ポイントの個別データ

ID	64	設置場所名	〇〇〇〇〇
		接する道路	32号線
		住所	〇〇〇〇〇
		第一連絡先	〇〇町経済課
		電話番号	〇〇〇〇〇
		土地の所有者	〇〇町
		備考	従業員駐車場の北側1/3を使用。
施設設備	水道	有	
	電気	無	
	トイレ	無 (建物内には有)	
必要機材・資材	テント	1 〇〇町	
	トイレ	1 畜産課(レンタル)	
	看板	5 現地家保	

6. マニュアル作成

候補地の一つである A町 総合運動公園 のマニュアルの一例を図8に示した。周辺地図で、幹線道路から消毒ポイントまでの看板設置場所を記載した。ポイント見取図では、

トイレや水道の場所を表示し、設置する機材（動噴や TENT）の位置などを表示、さらに誘導経路を矢印で表した。また、現場の状況や水道の蛇口の形状などの写真を添付した。さらにデータベースに記載されたデータを添付し、1カ所分のマニュアルとした。全候補地のマニュアルに、図9のとおり、業務内容や動力噴霧器の使い方、証明書の様式などの説明資料をつけて、図10のとおり消毒ポイントマニュアルが完成した。

図8. マニュアル一例



図9. 消毒ポイントマニュアル(説明資料)



図10. 消毒ポイントマニュアル一式



7. 出前演習の実施

消毒ポイント設置担当者である土木事務所へ出向き、出前演習を実施した（図11）。出前演習では、作成したマニュアルで設置の手順を説明し、動員登録者全員に、動力噴霧器の使い方、車両消毒、証明書記載などを体験してもらった。

8. 必要機材・資材等の調達分担

必要な機材・資材の調達分担を表5のとおりまとめた。現地家保（資材調整係）が調達する資材のうちすぐには調達できない看板40枚などを追加備蓄した。最終的には、このように1カ所分ごとにおいて、土木事務所で保管し、発生時の搬入をお願いしたいと考えている。

9. まとめ

迅速に消毒ポイントを設置するために、今回、管理者との事前調整と現地調査を行い、必要に応じて候補地の見直しを行った。また、不足している地区で新たな候補地を選定した。候補地の現地調査結果は、データベース化し、ポイントごとに詳細な設置方法をマニュアル化、さらに設置担当者である土木事務所で出前演習を実施するなど、機動力の強化を図った。また、現地調査により、候補地毎の必要機材・資材を把握し、分担を明確化、また調達に時間がかかる看板などを追加備蓄した。

今後は、農場ごとに発生を想定して、それぞれの制限区域で候補地を確保していきたい。また、今回管内で行ったマニュアル化と出前演習については、県内全域へ拡大したいと考えている。



表5.必要機材・資材の調達分担

調達者	調達品
市 町	市町所有機材・資材 (テント、机、椅子、動力、給水車など)
家畜防疫対策班 (畜産課)	レンタル機材 (発電機、投光機、動力、コンテナハウス、トイレ、ストーブなど)
現地家保 資材調整係	備蓄及び購入資材 (防護服、長靴、ゴーグル、ゴム手袋、看板、誘導灯、ホース、バケツ、踏込消毒機、プラン、消毒薬、カッパ、携帯缶、手押し噴霧器、スプレー、延長コード、重り、ブルーシート、紐、針金、工具類、筆記用具、消毒済証明書 など)

Below the table, there are two photographs showing 'Disinfection Point' (消毒ポイント) signs and equipment. The left photo shows a sign with a list of items and a person in a white suit. The right photo shows a sign with a list of items and a person in a white suit.